

編集の  
趣意と特色

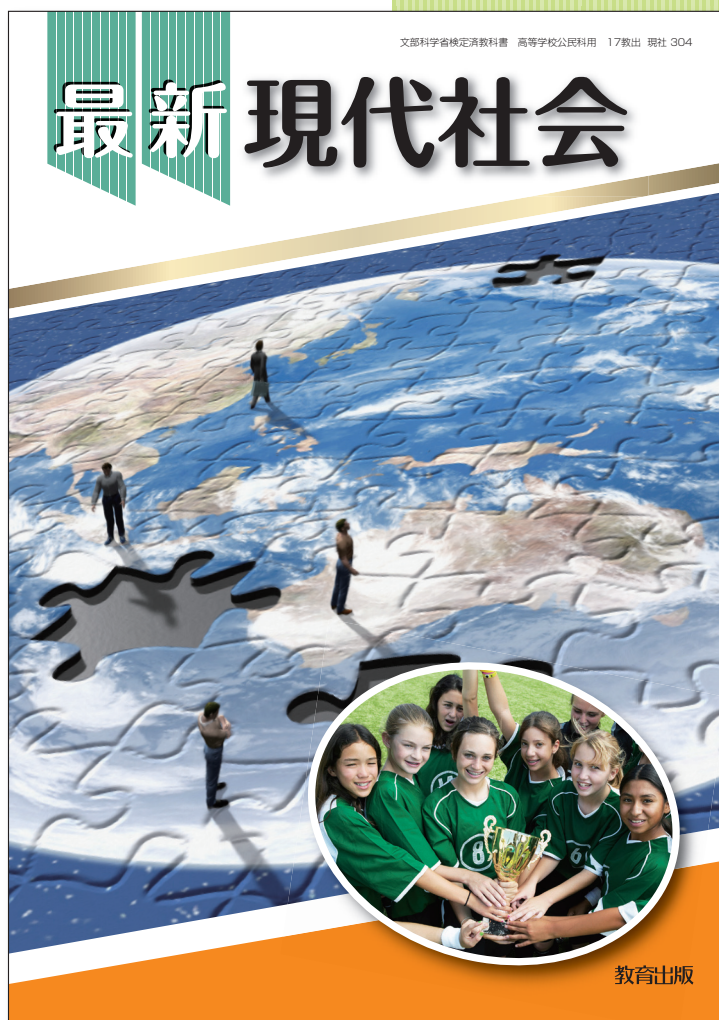
平成30教 内容解説資料

平成  
**30**  
年度用

高等学校教科書

# 最新 現代社会

17教出 現社 304



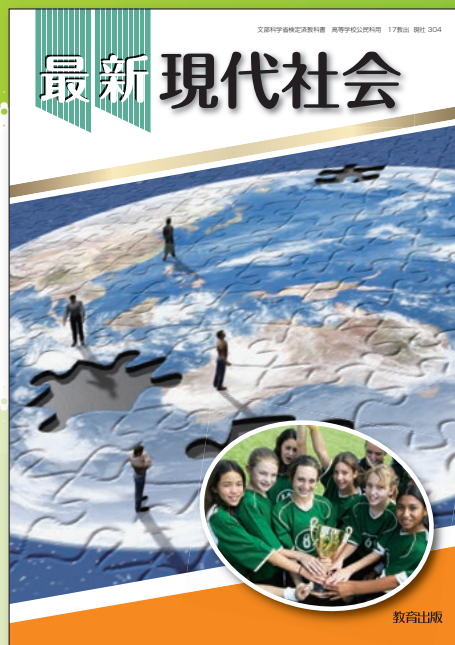
教育出版

# 最新 現代社会

B5判・192ページ

高校生活の入門書として  
楽しみながら学べる。  
大学受験のために必要な内容が  
しっかりおさえられる。  
社会人として知っておきたい知識が  
身につく……。

……そんな教科書が『最新 現代社会』です。



- 1 現代社会2単位の授業、そして大学受験のための学習、双方に過不足のない学習項目で構成しました。
- 2 第1編は、学習の導入として位置づけました。……「生命」・「情報」・「環境」の三テーマについて、身近な話題をやさしく位置づけました。
- 3 学習の中核となる第2編は、「青年期・倫理」、「法」、「政治」、「経済」、「国際社会」の五分野すべての項目について、見開き構成・全70項目で展開しました。
- 4 第3編は、まとめとして位置づけました。……「個人と社会」・「社会と社会」・「現在世代と将来世代」の三項目の学習を、ディベートやプレゼンテーション、小論文作成などのスキルも身につけながら、アクティブに学ぶことができるように構成しました。
- 5 「使いやすさ」を重視して、各所にさまざまな工夫を凝らしました。

## 著者紹介

### 監修

かわい ひでかず  
河合 秀和 学習院大学名誉教授

### 編集・執筆

あらし さとる  
嵐 悟 八王子学園八王子高等学校教諭

うえた かずひろ  
植田 和弘 京都大学大学院教授

おおなか まこと  
大中 真 桜美林大学准教授

おかだ のぶあき  
岡田 信昭 東京都立青山高等学校教諭

かしわざき としよし  
柏崎 敏義 東京理科大学教授

くぼ ふみあき  
久保 文明 東京大学大学院教授

さえき けいし  
佐伯 啓思 京都大学名誉教授

まとう こうじ  
佐藤 浩二 千葉県立市川鼎高等学校教諭

わかばやし ひでき  
若林 秀生 埼玉県立浦和北高等学校教諭

# 第1編 現代に生きる

題して「現代社会入門」。  
身近で、ソフトな話題から……  
「生命」「情報」「環境」



p.6

## 生命について考えよう

ペットをテーマに、いのちについて考えよう。

p.6~9

……もしかしたらイヌの現状は、  
未来の人間の姿をうつつしているのかもしれない。

## 情報化のもたらすもの

なぜ、ペリーの顔が異なっているのだろうか。

p.10~13



p.10

……先進国だけが恩恵を  
受けてきた果実だった  
「情報化」が、少しずつ  
発展途上国に広がりつつ  
ある。

## 「自然」と「人間」との対話

自然と人間の共生のために私たちは何をしなければならない  
のだろうか。

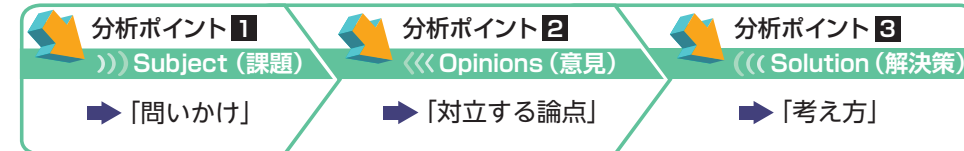
p.14~17

……自然と人間との対話を実現するためには  
どうしたらよいのだろうか。



p.14

現代社会の諸課題を考  
えるために、分析ポ  
イント1・2・3を設け  
ました。



# 私たちの生きる社会

あなたの生きてきた時代には何があったのか

p.18~19

第2編 私たちの生きる社会

あなたの生きてきた時代には何があったのか

現代社会の「現代」っていつをさすのだろうか。これから現代社会を考えるために、今の社会に大きな影響を与えたこととなったことについて、1990年代後半から現代までのこのころから見てみる。

● あなたの生きてきた時代には何があったのか

1995年1月17日午後、兵庫県を中心に大規模な地震が発生し、東部の新舞子や大谷町など約4万人の死者を出した。この「阪神・淡路大震災」ではライフラインが寸断し、家屋倒壊による犠牲者も多かった。そのほか、都市部でも大規模な火災や津波による被害も発生した。

同年3月には、東海地震による地下鉄3路線の断線で乗客の被害も発生した。この断線事故は、この事件が約4千人の乗客を巻き込み、日本で初めての都市交通機関への大規模な乗客被害となった。この事件で、公共交通機関への安全に対する社会的関心が高まり、都市部の交通機関が再評価されるようになった。

2001年9月11日、ニューヨークの双子ビルに同時多発テロ攻撃が行われ、一ビルとペンタゴンの国際機関ビルに、ハイジャックされた旅客機が突入する同時多発テロ事件があった。アメリカでは、この事件で、公共交通機関への安全に対する社会的関心が高まり、都市部の交通機関が再評価されるようになった。

2008年12月、アメリカでサブプライムローン市場の暴落をきっかけに、世界に波及したリーマン・ショック。世界経済は深刻な不況に陥り、日本でも株価が暴落し、国内の消費意欲が低下した。2010年、ギリシャの財政赤字が明らかになり、欧米各国で景気後退が進行し、輸出が伸びないままに景気回復が困難な状況となった。2011年3月11日、東日本大震災が発生し、福島第一原子力発電所が事故を起こした。この事故で、原子力発電に対する社会的関心が高まり、都市部の交通機関が再評価されるようになった。

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、福島第一原子力発電所が事故を起こした。この事故で、原子力発電に対する社会的関心が高まり、都市部の交通機関が再評価されるようになった。

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、福島第一原子力発電所が事故を起こした。この事故で、原子力発電に対する社会的関心が高まり、都市部の交通機関が再評価されるようになった。

「現代社会」の「現代」とはいつなんだろう？

……阪神・淡路大震災、同時多発テロ事件、アベノミクス

……

高校生が生まれたであろう時代から、現在までのできごとを俯瞰しました。

p.18~19

現代社会を彩る5つのテーマを扱います。

まずは、「あなたの生きてきた時代には何があったのか」で歴史をふり返し、それから、いよいよ本題へと離陸するようにしました。

……ようこそ『最新 現代社会』メインステージへ……

## 第2章 人権保障の原理と日本国憲法 p.48~63

「法」をテーマに、法に対する考え方を扱います。

POINT 3

第2章 人権保障

第1節 個人の尊重と法の支配

第2章 人権保障の原理と日本国憲法

1 法とは何か

法とは何か

法とは何か

第2章 人権保障の原理と日本国憲法

2 法の支配

法の支配

法の支配

各章ごとに色分けしてインデックスを付けました。行間などにある指示ページの矢印も、同じく色分けすることで関連する事項がどの編・章にあるのか、わかりやすくなりました。

p.48

p.53

## 第1章 青年期と現代社会 p.20~47

「青年期・倫理」をテーマに、現代社会、倫理、伝統文化を扱います。

POINT 1



p.30~31

第1章 青年期と現代社会

1 青年期とは何か

青年期とは何か

青年期とは何か

POINT 2



各章の最初の項目には、わかりやすいイラストを取り入れたり、身近な話題から導入するように配慮しました。

……しかし、職業の意義はそれだけだろうか。

登場人物の整理がしやすいように、行間に人物の説明(生没年など)を端的にまとめました。

p.30~31

## 第3章 民主政治と日本国憲法 p.64~85

「政治」をテーマに、政治の仕組みについて扱います。

POINT 4

Key Word

- 日米安保条約
- 有事法制
- 非核三原則

第3章 民主政治と日本国憲法

3 日本の安全保障体制と平和の構築

日本の安全保障体制と平和の構築

日本の安全保障体制と平和の構築

第3章 民主政治と日本国憲法

4 政治の仕組み

政治の仕組み

政治の仕組み

各見開きごとに、Key Wordを設け、3語以内で学習の中心となる用語を示しました。

p.72

p.73

……このような時代に平和を構築するためには私たちはどうしたらよいのだろうか。



# 最新 現代社会 内容構成・年間配当授業時数(案)

★前・後期制をモデルとした年間配当授業時数(案)です。

期	月	単元	時数		
前	4月	●幸福・正義・公正について考えよう	(1)		
		◆生命 生命について考えよう	1		
	5月	◆情報 情報化のもたらすもの	1		
		◆環境 「自然」と「人間」との対話(※1)	1		
		●あなたの生きてきた時代には何があったのか	(1)		
		第1章 現代の社会(5)	1 変化する大衆社会	1	
			2 少子高齢社会の到来	1	
			3 男女が共に生きる社会	1	
			4 高度情報社会に生きる	1	
			5 国際社会と日本人	1	
第2章 青年期と現代社会⑬	第2節 現代に生きる倫理(7)	1 青年期とは何か	1		
		2 適応と欲求不満	1		
		3 青年期と自己実現—職業と社会参加(※2)	1		
	第3節 豊かな社会を旨ざして(8)	4 善く生きること	1		
		5 生き方の思想	1		
		6 宗教を考える	1		
		7 アジアの思想	1		
6月	第3節 日本の伝統文化と思想のあゆみ(1)	1 日本の文化と伝統	*1		
		2 日本人の思想と伝統			
期	7月	第2章 個人の人権保障の原理と日本国憲法⑦	第1節 個人の人権保障と法の支配(2)	1 法とは何か	
				2 人権保障と法の支配	
				3 国民の司法参加と法	*2
			第2節 日本国憲法の人権保障(5)	1 個人の人権と公共の福祉	1
				2 法の下での平等	1
	9月	第3章 民主政治と日本国憲法⑩	第1節 民主政治とは(2)	1 民主政治の原理	1
				2 世界のおもな政治制度	1
			第2節 日本国憲法の基本原則と平和主義(3)	1 日本国憲法の基本原理	1
				2 平和主義と憲法第9条	1
				3 日本の安全保障体制と平和の構築	1
10月	第3節 日本国憲法と政治の仕組み(4)	1 議会制民主主義と国会の仕組み	1		
		2 行政権と内閣	1		
		3 司法権と裁判所	1		
		4 地方自治の原理と仕組み	1		
10月	第4節 政党政治と選挙制度	1 政党政治と選挙制度	1		
		2 世論と政治	1		

**導入を意識した「第1編」**  
身近な話題をとりあげました。

**ここだけで70項目、充実した内容の「第2編」**

**第2編とびら**  
1995年以降の出来事をたどりながら振り返ります。

**第1章**  
現代社会、青年期・倫理を扱います。

**第2章**  
法・人権について学習していきます。

**第3章**  
政治の仕組みについて学習していきます。

従来の「政治」単元が第2章・第3章にあたります。

## 特長

- 1 第1編は、自学自習できるように身近な話題を、やさしい文章でとりあげています。
- 2 第2編は、受験を意識した学習に対応できる、70の項目で構成しています。
- 3 第3編は、学習のまとめとして発展的な話題をとりあげ、学習スキルを高めながらアクティブに学ぶことができる構成にしています。

期	月	単元	時数		
前	10月	第4章 現代の経済社会と経済活動のあり方⑰	第1節 現代経済の仕組み(7)	1 現代経済に生きる私たち	*1
				2 経済社会のあゆみとその変容	1
				3 家計の役割と三つの経済主体	1
				4 企業の分類とその役割	1
			第2節 政府の役割と財政・金融(2)	5 市場経済のはたらき	1
				6 市場経済の限界	1
				7 国民所得と国富	1
				8 経済成長と景気変動	1
	11月	第2編	第3節 豊かな社会を旨ざして(8)	1 政府の役割と財政政策	*2
				2 予算の仕組み	
後	12月	第5章 国際社会の動向と日本の果たすべき役割⑯	第1節 国際政治とその課題(5)	3 通貨と金融政策	1
				1 日本経済のあゆみ(1) —経済民主化から高度経済成長へ	1
				2 日本経済のあゆみ(2) —石油危機からバブル・世界金融危機へ	1
				3 地域経済と食料・農業問題	1
				4 労働基本権と労働者の権利(※2)	1
	1月	第3節 地球社会の課題(6)	5 日本的経営の変化と新しい労働問題(※2)	1	
			6 社会保障と社会福祉	1	
			7 消費者問題と企業の社会的責任	1	
			8 公害防止と環境保全	1	
			1 国際社会の成り立ち	*2	
2月	第2節 国際経済とその課題(5)	2 国際平和のために	1		
		3 国際連合の仕組みと課題	1		
		4 戦後の国際政治	1		
		5 核兵器と軍縮	1		
		6 国際平和と日本の外交	1		
		1 私たちの生活と国際経済	*2		
3月	第3編	第2節 国際経済とその課題(5)	2 国際分業と貿易	1	
			3 為替相場と国際収支	1	
			4 戦後の国際経済	1	
		第3節 地球社会の課題(6)	5 地域的経済統合と経済協定	1	
			6 経済における日本の貢献	1	
			1 地域紛争と人種・民族問題	1	
2 国際社会と人権	1				
3 地球環境問題(※1)	1				
4 環境問題をめぐる対立(※1)	1				
5 人口・食料問題	1				
6 豊かさと貧困	1				
3月	第3編	●持続可能な社会の形成に参加しよう	(1)		
		◆個人と社会	1		
		1. 「社会起業」という生き方			
		2. 人間らしく働くことができる社会へ(※2)			
		◆社会と社会	1		
「苦い」コーヒー～生産者と消費者を結ぶもの					
◆現在世代と将来世代	1				
「世代間の対話」と持続可能な発展(※1)					
スキルを磨く(IV～VI)	(1)				
(まとめ)	(1)				

**第4章**  
経済の仕組み、財政政策・金融政策、経済史、経済をめぐる諸問題を扱います。

**セットで深める「環境問題」(※1)**  
・「自然」と「人間」との対話(第1編)  
・地球環境問題、環境問題をめぐる対立(第2編)  
・「世代間の対話」と持続可能な発展(第3編)

**第5章**  
国際政治、国際経済、地球的課題を扱います。

**セットで深める「職業と労働」(※2)**  
・青年期と自己実現—職業と社会参加(第2編・第1章)  
・労働基本権と労働者の権利、日本的経営の変化と新しい労働問題(第2編・第4章)  
・人間らしく働くことができる社会へ(第3編)

**まとめとして位置付けた「第3編」**  
具体的な事例をとりあげ、第2編の学習も共に深まるように工夫しました。

「スキルを磨く」を6つ設け、課題を探究するスキルが身に付くようにしました。

課題設定のコツ  
資料集めのコツ  
レポート作成のコツ

ディベートの秘訣  
プレゼンテーションの秘訣  
小論文を書く秘訣

※年間の総授業時間数を「70時間」と想定しています。( )内の時間数は含んでおりません。



# 準拠ノート・ダウンロード教材

## 生徒向け教材

現社 304 『最新 現代社会』完全準拠

## 現代社会 演習ノート

(本体 B5判 96ページ 別冊解答付き 本体価格600円+税)

★授業の復習に役立つほか、  
受験にも対応した発展的な問題も収録しています。

- ① 文章中に空欄を設ける形式の問題で、教科書内容を確認します。
- ② 重要なグラフ・図版などを用いた問題で、理解を深めます。
- ③ 正誤問題や文章でまとめる問題で、復習の仕上げをします。

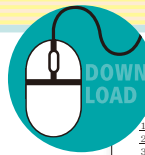
『最新 現代社会』完全準拠

## 現代社会サブノート

★授業の予習に、ノートの代わりに使えます。

教科書見開き2ページ分を、1ページにまとめました。

- ① 教科書内容に沿って、重要語句の部分为空欄にしました。
- ② ワード・一太郎形式でダウンロードできますので、編集が可能です。穴あき問題の作成にもご利用下さい。



1 青年期とは何か(p.30-31)

第二の誕生

■ ( 1 ) = 「第二の誕生」：( 2 ) ( 3 )

人生の重要な節目、自分の人生を生きるスタート

( 4 )	青年前期	青年中期	青年後期
⇒ 小学生後半	中学生	高校生	それ以降 ⇒

青年の成長と悩み

■ ( 5 ) = ( 6 )

子どもと大人、どちらの性格もあり、どちらにも所属できない

- ( 7 ) に目ざめる(強い自己意識)
- 自分を見つめる
- (「他人の目に自分がどう映るか?」)
- 孤独や劣等感、苦悶を感じる
- 自信がなくて、強く不安を感じる

友人を求め、友人との適切な距離の発見

アイデンティティの確立

■ 青年の課題

( 10 ) 「**精神的自立**」 親からの精神的な独立

( 11 ) 「**確立**」 ( 12 )

＝ 単独には成り立たない自分の確立

自分の考える自分の姿

他人が考える自分の姿 → 一致させる

- ・他人に認めてもらえるような自分らしさ
- ・何かに打ち込み、自分らしさを確立

( 13 ) 「**善行**」の、実行継続の経験が必要；( 12 )

もとは実行の支け(善行)期間

大人の義務・責任を免除されている見習い期間

■ アイデンティティの拡散

・自分に対する自分の評価と、周りの評価が異なる

→ ( 11 ) の**拡散** = ( 14 ) **脱** ⇒ ( 15 ) **脱**

※ 「人は努力する限り強いものである」：( 16 )

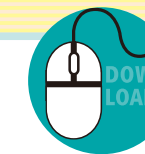
・ ( 17 ) → 大人になることを拒否する心理

教育出版の地歴・公民科教科書には、教授資料・準拠ノートはもちろん、ホームページ上からダウンロードできるさまざまな教材がございます。教員向け・生徒向け、さらに生徒向けについては、授業の予習・復習用、受験用など用途別に多くの教材を用意しています。

## 現代社会 テーマ別用語集

★定期考査から、受験まで幅広く使えます。

教科書内容に沿って、重要語句を一問一答形式で確認していきます。  
(ワード・一太郎形式で収録)



現代社会 テーマ別用語集	第2章 第2節 日本国憲法の人権保障	姓 名	
2 法の下の平等	p.56-57	氏名	

- (1) 1997年、日本の先住民であるアイヌ民族の伝統と文化に関する知識の普及と啓蒙を目的として制定された法律とは何か答えよ。
- (2) 夫婦のおおの結婚後も引き続き結婚以前の名を帯びていくことを何と称するか答えよ。
- (3) 2004年に大幅に改正された、日本における障がい者のための施策に関する基本的な事項を定めた法律を何と称するか答えよ。
- (4) 憲法第14条に列挙されている、身分・家柄・出生によって決まる社会的な地位のことを何と称するか答えよ。
- (5) 大日本帝国憲法の家制度の下で固定化された、男中心の価値観のことを何と称するか答えよ。
- (6) 日本国憲法で宣言されている、個人の人格の尊重に基づく平等観で、人種・信条・性別などに基づく差別を禁止する内容を何と称するか答えよ。
- (7) 憲法第26条に、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」とあるが、これは何について規定したのか答えよ。
- (8) さまざまに条件が異なるなかで、条件しだいで等しく扱ったり、異なる扱いをすることも認める平等の考え方を何と称するか答えよ。
- (9) 一人一人みな違っているからこそ、各人はこの地上にただ一人の貴重な存在であり、いっさいの差別なく尊重されなければならないとする平等の考え方を何と称するか答えよ。
- (10) (5)に対する反省から、憲法第24条で保障されている家族生活に関する自由を何と称するか答えよ。

## 12 国際政治とその展開

1 国際社会に関する記述について最も適切なものを、次の①から⑤のうちから一つ選べ。

① 主権国家を基本的な単位として国際社会が形成されるという概念は、20世紀初頭の国際連盟の設立により確立されたと考えられている。

② 領土と外交とともに国家の三要素とされている主権には、自国内の政治的な意思決定権のほか、領土に対する排他的な権力行使の最高権限の意味も含まれている。

③ 国連憲法条約によると、領土は海軍艦隊から12海里までの範囲とされ、領空は領土空間まで及びないことを原則として定められている。

④ 領土の経済水域は海軍艦隊から200海里までの範囲とされ、船舶資源を除く生物資源と生物資源に対する探査と開発の権利が認められている。

⑤ 国際法は国際連盟条約に大別されるが、条約締結国以外にも強制力を及ぼすという点において、国際連盟法に対する優位性が認められている。

2 国際連盟に関する記述について最も適切なものを、次の①から⑤のうちから一つ選べ。

① 国際連盟は第一次世界大戦後の1919年、人権史上初めての国際平和組織として設立された。

② 国際連盟への加盟は当初拒否され、その後加盟が認められたものの1959年に除外された。

③ 国際連盟の理事会は、イギリス・フランス・ドイツ・ソ連の常任理事国を中心に運営された。

④ 国際連盟が加盟により重要事項を協議を行ったことは、結果的に国際連盟の存在を弱体化させることになった。

⑤ 国際連盟が第二次世界大戦を招いた理由として、経済制裁を課すことができなかったことがあげられる。

3 国際連盟に関する記述について最も適切なものを、次の①から⑤のうちから一つ選べ。

① 1945年のサンフランシスコ会議において国際連盟が再発足され、国際連盟が設立された。

② 国際連盟の本拠地は、国際連盟に引き継ぎスイスのジュネーブに置かれた。

③ 1950年以後の代表が国連総会に加盟する国に強制力のある決定を行い、一国一票を原則としている。

④ 国際連盟に規定されている国際法は、領土戦争のときと異なり正式に組織されたことではない。

⑤ 国連平和維持活動は国際連盟に明記されている活動ではないが、任務の性格から「6章」活動ともよばれる。

4 第二次世界大戦後の国際政治の動向に関する記述について最も適切なものを、次の①から⑤のうちから一つ選べ。

① 自由主義を掲げるアメリカ陣営と共産主義を掲げるソ連陣営による世界を二分する対立を東西対立というが、両陣営が同時に世界を二分する勢力はなかった。

② 1948年、通貨政策での対立を解決し「経済協力開発機構」を創設し、ベルリンの壁が1989年に設置されたことによりドイツは東西に分裂された。

③ アルジェリアによるスターリン批判やキューバ危機など、東西両陣営は対峙した対立関係が続き、冷戦が終結するまで緊張が緩和することはなかった。

④ 1960年代には、東西両陣営のどちらにも属さず中立の立場をとる国があらわれ、1961年ベネズエラで第一回非同盟諸国首脳会議が開催された。

⑤ 1989年、東欧諸国の民主化革命が進行する中で、地中海のマルタ島でレーガン大統領とゴルバチョフ議長が会談し、冷戦の終結を宣言した。

5 核兵器や軍備に関する記述について最も適切なものを、次の①から⑤のうちから一つ選べ。

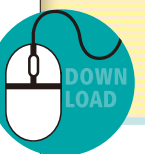
① 米ソ両大国に引続き、1960年代にはイギリス、60年代にはフランスと中国が核保有国となった。

② 核兵器保有国に向けた科学的知識を及びけりるものとして、1975年宣言がある。

③ 1996年に採択された国際連盟条約(NPT)は、核保有国の数を増やすことと認められている。

④ 包括的核実験禁止条約(CTBT)の発効により、核兵器実験も禁止された。

⑤ 2009年8月にオバマ大統領は広島を訪れ、「核なき世界」への取り組みをすすめていくことを表明した。



## 現代社会 ハイレベル正誤問題集

★入試対応正誤問題集です。

用意された複数の選択文を読んで、正解を導き出しながら、学習のまとめができます。  
(ワード・一太郎形式で収録)



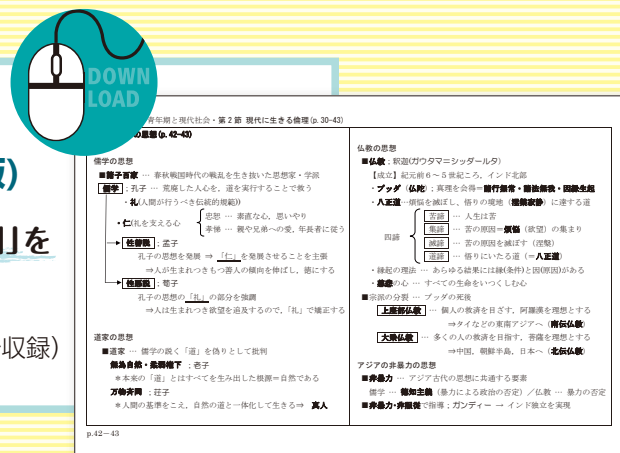
は、「教育出版ホームページ」⇒「高等学校」⇒「地理歴史・公民」⇒「高校社会アーカイブ」及び「授業用資料」からご覧いただけますと同時に、ダウンロードすることができます。

現社 304 『最新 現代社会』完全準拠

## 現代社会 板書例 (細密版)

★教授資料掲載の「授業の流れの例」を詳細にしたものです。

(ワード・一太郎形式で収録)



## 授業に役立つ新しい話題

教育出版ホームページに収録

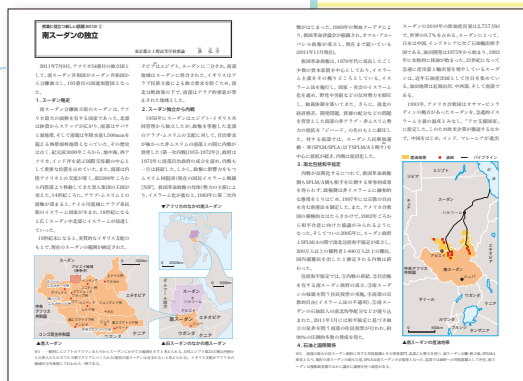
★そのときどきの旬な話題をホームページ上から随時提供しています。

例えば、環境問題について、現地からのレポートや用語説明、数値の算出の仕方はどうなっている? など、さまざまな切り口から展開しています。

書き手は、高校・大学の先生方です。

(PDFファイル形式で収録)

※PDFとは、Adobe社が無償で配布しているAdobe Readerを使って見ることができるファイルです。PDFが開けない場合は、Adobe社のホームページからAdobe Readerをダウンロードしてください。



教育出版ホームページ

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/> にアクセスしてください。

## 生徒向け教材

教材名	教材内容	使い方の例
『最新 現代社会』完全準拠 現代社会 演習ノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書内容の確認</li> <li>資料(グラフ・図版)の読み解き</li> <li>発展問題(四者択一型の問題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎授業の予習・復習</li> <li>◎受験対応</li> </ul>
『最新 現代社会』完全準拠 現代社会サブノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>【サブノート形式】</li> <li>授業一時間(教科書2ページごと)の内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎授業の予習・復習</li> <li>○定期試験対応</li> </ul>
現代社会テーマ別用語集	<ul style="list-style-type: none"> <li>【一問一答形式】</li> <li>授業一時間(教科書2ページごと)で重要と思われる語句を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の予習・復習</li> <li>◎定期試験対応</li> <li>◎受験対応</li> </ul>
現代社会 ハイレベル正誤問題集	<ul style="list-style-type: none"> <li>【センター入試形式】</li> <li>四者択一型の問題を解くことを通じ、学習内容の総合的理解を深める</li> <li>解答欄に赤字で詳細な説明を加え、理解が深まるように配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎受験対応</li> </ul>
◆教授資料付属CD-ROM チェックドリル (第1編・第3編)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の予習・復習や、整理用</li> <li>選択肢から適語を答える形式が中心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の予習・復習</li> </ul>
評価問題(第2編)	<ul style="list-style-type: none"> <li>章や節ごとの復習用で、ややレベルの高い問題</li> <li>定期考査例も収録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎定期試験対応</li> <li>◎受験対応</li> </ul>
<b>その他の資料</b>		
最新 現代社会プリント集	教科書型, 教科書資料型, ワークシート型のプリント集(全10テーマ)	
現代史年表ワークシート	世界・日本の戦後のできごとを1シート=約10年間ずつに整理(1945-2012年)し、中学校で学習する事項を赤字で示すなどした、プリント作成用の素材集【穴あき問題例付き】	
日本国憲法ワークシート	日本国憲法の条文に空欄を設け、当てはまる言葉を答える 現代社会や政治・経済の憲法学習時に役立つワークシート	
『最新 現代社会』完全準拠 現代社会 板書例(細密版)	授業一時間(教科書2ページごと)の授業の流れの例を、詳細に表現	

\* ■ は準拠ノート, ■ はホームページから無料ダウンロードできる教材, ■ は教授資料付属のCD-ROM中のコンテンツです。



# 教科書 検討の観点と特色

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名	発行者名
17教出	現社304	最新 現代社会	教育出版株式会社

項目	観点	特色等
1 内容の選択と程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材</li> <li>* 基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1編は、指導要領に示すとおり、導入として位置づけられ、それにふさわしい身近な3つのテーマについて、写真やわかりやすい資料を用いて展開しており、実用的な内容となっている。さらに、問題点が明確に焦点化されており、生徒が学習を行うための動機となる素材が十分に用意されている。</li> <li>● 第2編は、政治・経済分野をはじめ学習内容が充実し、哲学思想や歴史（経済史など）といった発展的・横断的な内容も適宜取り上げられ、バランスのとれた学習事項が扱われている。また、中学公民で学んだ事項から、専門性の高い事項まで幅広く扱われており、学習の発展段階に配慮した配列や簡潔な本文記述となっている。側注や用語解説などにより内容の充実が図られ、学習の理解を助けている。特定の学力層に偏らず、広範な学力層を対象にできる教科書である。</li> <li>● 第3編は、まとめとして位置づけられ、第1・2編の学習をふまえて取り組むべき、課題探究学習に重点を置いた適切なテーマで構成されている。「トークセッション」「考えてみよう」「調べてみよう」など、アクティブな学習の例が示されていると同時に学習スキルが十分に身につくよう工夫されている。</li> </ul>
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1編は、生徒に身近な話題を扱い、かつ各項目とも適量で構成されている。</li> <li>● 第2編は、各単元とも基礎的な内容から発展・応用的な内容まで、順序よく構成され、見開きで使いやすい。特に政治・経済分野をはじめ、生徒に身近な話題を適度に取り入れ、学習内容が根本から理解できるように工夫されている。</li> <li>● 第3編は、第1・2編の学習をふまえて、課題探究学習に適した話題と学習スキルを高める内容について、適量で構成されている。</li> </ul>
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法</li> <li>* 印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事例の紹介や、特定のテーマを解説する小コラムが多くのページにみられ、学習に深みを与える。見開き右ページの「Key Word」は学習の整理に役立つ。</li> <li>● 本文を補足する側注解説だけでなく、重要語の解説や法律条文、各種資料などを見開き紙面のなかに設け、学習のいっそうの理解と発展が図られている。</li> <li>● 編・章ごとに右ページのインデックスとともに色分けされ、わかりやすい。</li> <li>● B5判（大判）を生かして多数の写真や図表が大きく掲載され、識別しやすく、資料性が高い。本文・側注は、活字の大きさ、行間とも読みやすい。</li> <li>● 装丁は堅牢で、長期の学習においても耐久性がある。</li> </ul>
4 総合所見		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現代社会は、指導要領が示すように倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会にかかわる現代社会の諸課題などについて、様々な観点から追究させる科目である。その目標の達成に向け、本教科書は数多くの学習事項と追究すべき課題を、特定の分野に偏ることなく扱っており、公民科として総合的な学力の向上が期待できる。</li> <li>● 2単位の授業時数のなかで多くの学習事項にふれることができ、「現代社会」のみの履修で「高等学校公民科」を修了する際も、社会事象に関する十分な知識と公民としての基本的な教養が習得できる。</li> <li>● 写真、グラフ、図解、表が非常に豊富で、かつ大きく掲載されているため読み取りやすい。本文や側注の解説による理解だけでなく、視覚的な理解や読図、資料分析の能力向上にも最適である。</li> </ul>